

脇役から主役の座へ

# 生理活性効果に脚光

## コレステロール減少、血糖値抑制、アレルギー改善 健食など商品化

他方、CDの応用開発では、最近、包接品のみならず、CDそのものの生理活性効果が注目されてきた。CDがいわば脇

役から主役へと浮上してきたわけだ。シクロケムでは、とくに難消化性で天然の食物繊維をしのぐ多機能を発揮するα-C

Dに着目、ここ数年のうち、コレステロール減少効果、血糖値上昇抑制、便秘改善効果、さらにはアレルギー改善効果

を確認、特許を出願、四年前からは健康食品「ピュアファイバー」のブランドで商品化もしている。

さらに同社は、国内各県の試験センターやJST(科学技術振興機構)などを通して、企業、大学と連携、CD応用研究を意欲的に推進している。青森では、非水溶性CDポリマーにより、水中ダイオキシンをはじめとする有害物質吸着除去やヨウ素回収法。石川県では、繊維、プラスチックにメントールやピタミンA、C、Q10包接CD

の固着化技術。鳥取県では、地域コンソーシアムを組み、梨などの果実に抗菌剤包接のCD不織布包装、汚染防止に役立てる研究会を立ち上げた。また東京農工大とは共同で、CDの応用によって、牛乳の栄養分を損なわずに粉末化する技術を開発中だ。初期ステージを終了し、今年から第二段階の育成ステージに進める。